

**日本塑性加工学会創立 50 周年記念事業**  
**プロセス・トライボロジー分科会**  
**特別企画 インターナショナルフォーラム**

**「Asian Forum on Advanced Metal Forming and Tribology in Manufacturing」**

日 時:平成 22 年 8 月 24 日(火) 9:50~19:20

会 場:岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ フォーラム:2 階 ホール / 懇親会:5 階 大会議室

[〒500-8856 岐阜市橋本町 1-10-11 電話 (058)262-0150(代) JR 岐阜駅徒歩 2 分, 名鉄岐阜駅徒歩 7 分](<http://www.plaza-gifu.jp/>)

主 催:プロセス・トライボロジー分科会

協 賛:日本塑性加工学会創立 50 周年記念事業, 軽金属学会, 精密工学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会の各  
 東海支部, 自動車技術会中部支部, International Research Group on Tribology in Manufacturing, NAMRI/SME, ASME

趣 旨:中国を中心に東アジアは世界のものづくりの拠点としての地位を確立しつつあり, 近年の製造技術の発展はめざましいもの  
 があります. 東アジアの塑性加工技術およびトライボロジー技術に代表される関連技術の現状を把握し, 共存・競争相手と  
 しての我が国の対応策と協力関係の在り方を探ります. なお, 本フォーラムは日本塑性加工学会創立 50 周年記念事業の  
 一つとして実施し, 通訳つきで実施します.

プログラム:開会の辞(9:50~10:00)

分科会主査 (株)豊田中央研究所 土屋 能成 君

午前の部(10:00~12:30)

司会 名古屋工業大学 北村 憲彦 君

午後の部(13:30~17:00)

司会 富山大学 会田 哲夫 君

閉会の辞(16:50~17:00)

フォーラム 組織委員長 名古屋工業大学 堂田 邦明 君

時 間	内 容	講 師
10:00~10:50	中国における精密鍛造の現状と今後の開発動向: 自動車産業の発展とともに成長した中国のシャフトやギヤなど精密鍛造部品メ ーカを紹介するとともに, リングローリングとスピニングを組み合わせ, FEMを活 用した軽量・高精度成形加工技術について述べる.	北京機械電子技術研究所 (BRIMET) 教授 Zhi-Ping Zhong 君
10:50~11:40	台湾における塑性加工技術の現状と展開: 生産統計を元に台湾における金属加工産業の現状と動向を分析するとともに, 冷鍛型技術, 液圧成形, 電磁成形など最新技術の応用展開について述べる. DLC や CrN といった硬質表面皮膜についても触れる.	金属工業研究発展中心 (MIRDC) 所長 Ho-Chung Michael Fu 君
11:40~12:30	韓国における成形・トライボロジー研究の最新動向: 韓国塑性加工学会, 韓国潤滑学会の論文傾向や金型, 潤滑剤の生産動向を 概観するとともに, 摩擦に及ぼす金型表面性状や潤滑剤などの影響を示して, 冷間鍛造時の摩擦状態を簡便, 正確に測定する tip test を紹介する.	韓国科学技術院 (KAIST) 教授 Yong-Taek Im 君
12:30~13:30	昼 食 ・ 休 憩	
13:30~14:20	中国及び珠江デルタにおける塑性加工, プロセス・トライボロジーの発展: 進行中の研究テーマから中国の塑性加工産業の動向を述べる. すなわちマイ クロフォーミングによる微小部品開発, 医用インプラントや宇宙構造物用ナノ結 晶化表面技術, 微細構造集積軽量車両用クラッシュボックスなどを紹介する.	香港理工大学 機械工学科 教授 Jian Lu 君
14:20~14:50	アジア諸国における塑性加工用金型材と表面処理の技術動向: 各国の状況を紹介するとともに, 中国における金型材の進展と日本に寄せられ るニーズから見た両者の工具鋼の比較を行う. また日本が先行する高強度, 高 精度成形など新技術に対応する金型材, 表面処理の技術動向を紹介する.	日立金属(株)安来工場 製品企画センター センター長 田村 庸 君
14:50~15:20	世界における硬質被膜の工具への応用: 被覆のプロセス・トライボロジー特性の評価, 被覆処理技術の改善及び金型, 加 工具などへの世界的な実用, 普及の現状を紹介するとともに, 更なる普及の進 展に向けた技術, 処理サービス側及び受け入れ側の課題について触れる.	元(株)豊田中央研究所 取締役 新井 透 君
15:20~15:50	アジア地域での加工用潤滑剤の実態とその供給会社 アジア各国で加工用潤滑剤のニーズが高いが切削, 圧延, 鍛造各潤滑油剤の 使用比率や供給体制は, 産業状況を反映し大きく異なる. 各国の加工用潤滑 剤の実態とその供給体制から, 今後の塑性加工用潤滑剤の拡大を展望する.	住鋁潤滑剤(株) 技術企画部 副部長 柏谷 智 君
15:50~16:00	休 憩	
16:00~16:50	総合討論:	司 会 堂田 邦明 君
17:00~17:20	休 憩	
17:20~19:20	懇 親 会	

定員:100 名(8/10 締切および定員になり次第締切)

フォーラム参加費:プロセス・トライボロジー分科会委員 3,000 円, 日本塑性加工学会会員 10,000 円(学生会員は無料), 一般  
15,000 円(いずれも資料代含む, 協賛学協会員は会員扱い)

懇親会:5,000 円

申込方法:E-mail または FAX にて「インターナショナルフォーラム」と題記し, (1)氏名, (2)勤務先(名称・部課名), (3)通信先(〒, 住  
所, 電話, FAX, E-mail), (4)会員資格(所属学協会および会員種別), (5)懇親会参加の有無を明記して, 下記までお申込み下  
さい.

※参加費は参加券・請求書を受領後に指定口座まで開催 3 日前までにご送金下さい. 請求書受領後の返金はできません. 指定  
口座は請求書に記します.

※連絡には通常 E-mail を使いますので, できるだけ E-mail にてお申込み下さい.

申込先:大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能デザイン領域 松本 良(プロセス・トライボロジー分科会幹事) 宛

電話:06-6850-6197 FAX:06-6850-6199 E-mail:ryo@me.es.osaka-u.ac.jp